

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 21年 12月 3日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0171401714		
法人名	有限会社 ウジャト		
事業所名	グループホーム のぞみ2号館		
所在地	函館市亀田港町60-23 (電話) 0138-43-7001		
評価機関名	株式会社 サンシャイン		
所在地	札幌市中央区北5条西6丁目第2道通ビル9F		
訪問調査日	平成21年11月26日	評価確定日	平成21年12月9日

【情報提供票より】( 21年 11月 1日事業所記入 )

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 18年 2月 15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤	14人、非常勤 1人、常勤換算 13.9人

### (2) 建物概要

建物構造	木造	造り
	2階建ての	1~2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費15,000円 暖房費5,000円(10-4月) 日用品費10,000円
敷金	有( 円 )	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,300 円	

### (4) 利用者の概要( 11月 1日現在 )

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	1 名	要介護2		3 名	
要介護3	6 名	要介護4		3 名	
要介護5	5 名	要支援2		0 名	
年齢	平均 84.2 歳	最低	55 歳	最高	98 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	平山医院・函館医師会病院・なるかわ病院・平田皮膚泌尿器科・沢木歯科・上磯藤岡眼科
---------	--

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホームのぞみ2号館は、北海道大学水産学部の裏手で、閑静な住宅街の中に位置している。隣りに併設のグループホームがあり、献立の作成や行事を合同で実施することもある。建物の周辺には芝生や家庭菜園用の畑があり、夏場は利用者の憩いの場でもある。事業所内は明るく清潔感があり、ペットの猫が利用者の心を癒している。職員は利用者の尊厳を守りながら本人主体のケアに取り組み、利用者が地域の一人として安心して暮らし続けるように支援している。利用者は趣味を続けながら明るく生活しており、今後も期待したい事業所である。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回の改善課題である、理念の共有と評価の意義の理解、役割、楽しみごとの気晴らし支援、災害対策などは、運営推進会議やユニット会議の議題とし、話し合いを重ねて改善している。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は各ユニットで全職員が項目を分けて記入し、管理者会議で検討して作成している。職員は、日々のケアの見直しや反省点を見出す良い機会であるとならえ、改善に向けて取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 町内会会館で運営推進会議を実施し、事業所の活動、行事報告と外部、自己評価を議題にし、活発な意見交換をしている。町内会からの参加者からは行事の参加依頼があり、また家族の要望により、避難訓練に地域の方々と一緒に参加するなど、有意義な会議となっている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 運営推進会議で家族の意見や要望を聴いたり、訪問した時に気軽に話し合えるように心掛け、できる限り家族の意向を汲み取るように努め、運営に反映させている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 利用者は町内会のカラオケ教室や絵手紙教室に通ったり、盆踊りに参加している。職員の指導によるパン教室には地域の方々に参加し、七夕には大勢の子供達が訪れたり、地域との交流は盛んに行われている。

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で、快適な生活環境の提供と、心身共に自立した人生の援助を柱に、事業所独自の理念を作り上げている。		理念の要点を、簡素化した文章に作り直し、共有し理解を深められるよう期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は職員の目の届く所に提示してあり、ユニット会議の中で確認し、実践に向けて取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者は町内会のカラオケ教室や絵手紙教室に通っている。事業所のパン教室には地域の方々と利用者が一緒に参加し、七夕祭りには大勢の子供達が訪れるなど、地域との交流を盛んに行っている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員が項目を手分けして記入し、管理者会議の中でまとめ、作成している。職員は、日頃気が付かない点や反省点を見出し、改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会会館で実施している運営推進会議は、事業所の活動報告や評価の公表を議題にしている。家族からの意見や要望も活発であり、避難訓練の要望には地域の方々や家族も参加するなど、有意義な会議となっている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市の担当者が定期的に訪問している。保健所や包括支援センターと常に連携して、研修会の情報を得たり、相談をするなどして、サービスの向上に取り組んでいる。</p>		
<p><b>4. 理念を実践するための体制</b></p>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>月1回、利用者の健康状態と行事の様子を写真を添えて個々に郵送している。職員の異動の知らせはホーム便りで報告し、パソコンで管理している金銭管理はコピーして家族に報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進会議や家族の訪問時に気軽に話し合える環境を作り、できる限り意見や要望を取り入れるように努め、運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員をユニットごとに固定化して、馴染みの関係による支援を大切に取り組んでいる。離職する職員のある時は事前に説明し、新人の職員には先輩職員がサポートして、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	総合施設長は職員の資格取得を推奨し、職員は外部研修に積極的に参加している。月1回は、ユニット勉強会を実施し、排便コントロール法、インフルエンザ、介護計画などテーマを変えて内部研修をし、報告書を作成して全職員が共有している。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協議会での勉強会やボーリング大会などで同業者と交流があり、意見交換をしてサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心してサービスを利用するために、職員が自宅を訪問したり、事業所を見学してもらうなど工夫をしている。場の雰囲気に馴染むまでは、電話で家族の声を聞かせたり、散歩をして、利用者の話を聴くことに努めている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩であると考え、日常的に教えてもらう場面が多く、利用者に教わりながら一緒に編んだたくさんのマフラーをモンゴルに寄贈し、利用者の製作意欲につなげている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	一人ひとりの思いを把握して、希望に沿った支援をしている。意思疎通が困難な利用者は、家族から情報を得たり、表情、仕草、動作を観察して、スタッフで話し合い支援をしている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	職員は日々記入している業務日誌、受診ノート、連絡ノートを参考に、家族の意見を聴いて、担当者会議の中で一人ひとりに合った介護計画を作成している。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	利用者の状態により、3ヶ月、6ヶ月ごとの見直しであるが、状況に変化があった時は、かかりつけ医や協力医、家族と相談し、新たな計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	自宅訪問支援、理美容院の送迎、受診支援、元勤務先の忘年会の送迎など、本人や家族の要望により臨機応変に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望でかかりつけ医の受診は可能である。毎月2回の協力医による訪問診療があり、24時間医療連携体制を整えるなど、適切な医療を受けられるように支援している。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>本人と家族の希望で、かかりつけ医の協力のもと、看取った経験のある事業所である。職員は、終末期の対応について、医師の指導により勉強会を実施して、方針を共有している。</p>		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の記録は、事務所内のロッカーに保管している。職員は言葉遣いやトイレの誘導などにさりげなく対応しており、利用者のプライバシーを損ねない対応の徹底を図っている。</p>		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事時間をある程度決めているが、編み物、縫い物、カラオケの練習、散歩など一人ひとりのペースを大切に、希望に沿った支援をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は、昔の味、家庭的な味を心掛けて献立を作成している。利用者の希望で、赤飯やステーキに変えることもあり、楽しく食事ができるように支援し、調理や味見、後片付けなど、利用者のできる力に合わせ、職員と一緒にしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望により毎日入浴できるが、拒否する利用者には、職員を変えたり、タイミングをみて入浴支援をしている。浴槽内に椅子の高さを調節できる装置があり、負担感を軽くするなど楽しく入浴ができるように支援している。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの生活歴や趣味を把握し、カラオケ、料理、書道、縫い物、パン作りなどや、役割を決めてのレクリエーションをしたり、日々楽しく過ごせるように支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は敷地内の芝生でおやつの時間としたり、散歩、買い物などできる限り日光浴をするように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は施錠していないので出入りは自由であるが、外出傾向のある利用者は、職員が安全に気を付けながら見守り支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力で、夜間想定を含んだ火災訓練や地震訓練をしている。事業所のパン教室に日程を合わせて実施しており、家族、地域の方々が多数参加している。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は、隣接のホームの担当者と合同で作成し、利用者の状態により、トロミ剤を利用したり、きざみ食などを取り入れている。水分摂取量は、1日1,500mlを目安に支援し、食べる量と共に記録している。</p>		<p>毎月体重の測定をして増減を記録しているが、栄養のバランスについて、栄養士の指導を受けることを期待する。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有空間はバリアフリーが完備され、不快な音もなく、採光もカーテンで調節されている。利用者の写真や季節に合わせた小物が飾られ、居心地よく過ごせるように工夫がなされている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>在宅当時の家具や冷蔵庫、日用品が持ち込まれ、自作の書道や家族の写真などが飾られ、本人が居心地よく過ごせるように工夫がなされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。